

平成31年 2月25日

江差町議会議長 打越 東亜夫 様

総務産業常任委員会

委員長 室井 正行



### 委員会調査報告について

本委員会に審査付託された陳情を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第95条及び第97条の規定により、下記のとおり報告します。

#### 記

1 調査事件 平成30年第4回定例会  
陳情第1号 宿泊施設誘致に関する陳情

2 調査期日

平成31年 1月24日	今後の取り進めについて 各委員からの意見聴取
2月 8日	担当課からの聞き取り調査
2月22日	副町長からの聞き取り調査 調査のまとめについて 調査報告書協議

3 審査の経緯と結果

平成30年9月28日に、江差町議会議長宛に提出された陳情書の趣旨は、町外からの宿泊事業者を誘致することは、現在経営されている地元の宿泊事業者の破綻を招く恐れもあるため、宿泊施設の誘致及び誘致宿泊事業者に対する江差町まちづくり推進交付金上限1億円の停止を求めるものである。

これまでの町及び議会の動きとすれば、概ね次のとおりである。

町では、「江差町総合計画」や「江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「江差町観光戦略書」において新たな宿泊施設の必要性について記されている。また、これまでの通過型の観光形態から滞在型の観光形態へのシフトを図るべく、一般社団法人江差観光みらい機構を設立し、外貨を稼ぐための仕組みを構築するための新たな観光施設を創出することとしており、宿泊施設の整備が大きな役割を果たすものと述べられている。

議会では、総務産業常任委員会から平成23年第3回定例会発議10号「観光振興に関する事務調査」において、「宿泊施設はこの町の観光振興において大きなウイークポイントである。町外資本に対するホテル誘致の強化が必要と考える。」とし、併せて「既存の旅館が再生できるような行政の支援を検討すべき」と報告している。また、

平成27年第3回定例会発議9号「新幹線を活用した産業振興に関する事務調査」では、「宿泊滞在型観光の受け入れ増強に向け、観光客の多様なニーズに対応した良質な宿泊施設の整備が必要である。」また、「既存宿泊施設の充実のため、宿泊施設誘客促進対策事業は、旅館組合、商工会等の意見を踏まえ、制度の見直しや、情報発信等に対する助成制度の検討も必要である。」との意見報告がなされ、宿泊施設の必要性については、新たに誘致すべきものの他、既存の宿泊施設整備に向けても前向きな意見や報告をしているところである。

江差町においては長年の懸案である宿泊施設の整備は、新たな人の呼び込みと地域の活性化はもとより、地域経済に少なからず好循環をもたらすものと考えられる。当該交付金事業は要綱により策定されたもので、宿泊施設誘致に対する町の姿勢を示したものであり、今後、宿泊事業者からの申請がされた場合には、

- ① 役場内部での審査
- ② 町内宿泊事業者への説明
- ③ 議会の議決

という必要なプロセスがあり、事業計画書の受理が、即交付金1億円上限の事業実施とはなっていない。

以上のことから、下記のとおり意見を付したうえで、本陳情を「不採択とすべきもの」と決定したことを報告する。

#### <意見>

江差町まちづくり推進交付金は、町外からの宿泊事業者のみならず、町内の既存宿泊施設も活用できる内容等となっているが、今回の陳情書が提出された背景には、行政側が陳謝しているとおおり、町内の既存旅館組合への丁寧な説明の欠如と、懇談の場の設定、理解を求める環境整備等の努力不足を認める。

今後も引き続き、既存宿泊事業者との話し合いを早期に行い、旅館組合が役場庁舎前に設置されている看板の撤去を、共に合意の上、すみやかに撤去される最大の努力を強く求める。

江差町継承のために、今何が求められているか、町民総意の事業となるように努力することを強く望むものである。

陳情第1号

## 陳 情 文 書 表

議 案 番 号	陳情第1号
受 付 年 月 日	平成30年9月28日
陳 情 者	江差旅館組合 組合長 増永一彦  (11:40頃 尾山町36番地 増永一彦氏 持参)
件 名	宿泊施設誘致に関する陳情
陳 情 の 内 容	宿泊施設の誘致及び誘致宿泊事業者に対する江差町まちづくり推進 交付金1億円(上限)を停止すること (詳細は別紙「宿泊施設誘致に関する陳情書」のとおり)
摘 要	平成30年陳情第1号として受理

平成 30年 9月 28日

江差町議会議長 打越東丞夫 様

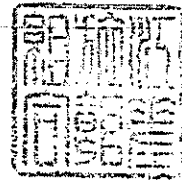
宿泊施設誘致に関する陳情書

江差旅館組合

陳情者 (自書) 組合長 増永 一 彦

住 所 〒 043-0024

江差町字尻山町96



## 宿泊施設誘致に関する陳情書

### 一 陳情要旨

町内宿泊事業者は厳しい経営環境ながらお客様満足度を高めるため日夜経営努力に努めております。町内行事やイベント等には満室状態になりますが、冬場閑散期は空室も多く厳しい経営環境にあります。町外から宿泊事業者を誘致することは、地元宿泊事業者の破綻をまねく恐れもありこれに反対するものです

### 二 陳情事項

宿泊施設の誘致及び誘致宿泊業者に対する「江差町まちづくり推進交付金」1億円（上限）を停止すること